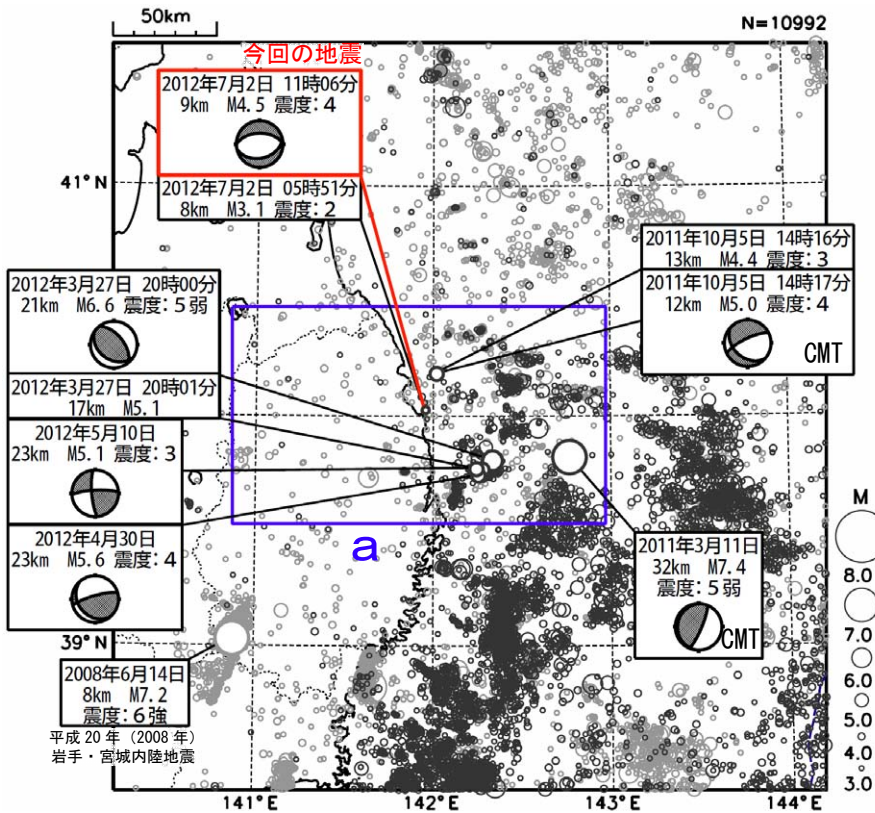


7月2日 岩手県沖の地震

震央分布図※

(1997年10月1日～2012年7月7日、深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

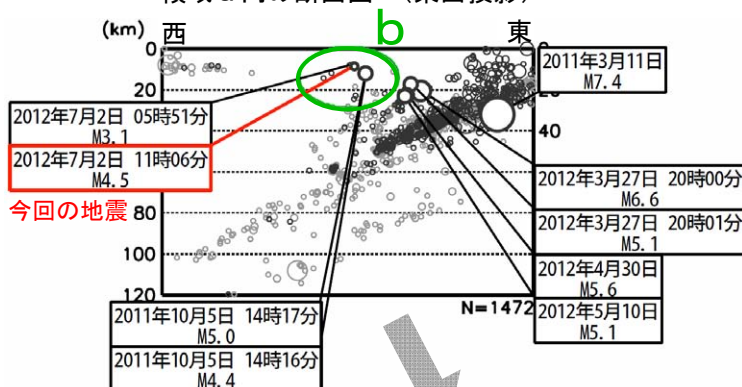
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を濃く表示



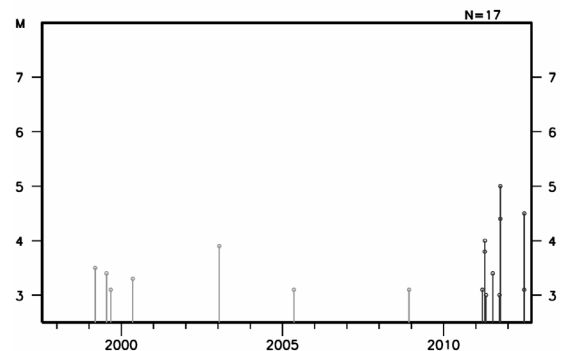
2012年7月2日11時06分に岩手県沖の深さ9kmでM4.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。この地震の震源近傍では、約5時間前の同日05時51分にM3.1の地震(最大震度2)が発生していた。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は地震活動が比較的低調な領域であるが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生後は、それまでよりも活発になっている。2011年3月11日以降、領域bを含む岩手県沿岸部の陸のプレートの地殻内では、2011年10月5日のM5.0の地震(最大震度4)や2012年3月27日のM6.6の地震(最大震度5弱)など、M5.0以上の地震もいくつか発生している。

領域a内の断面図※(東西投影)

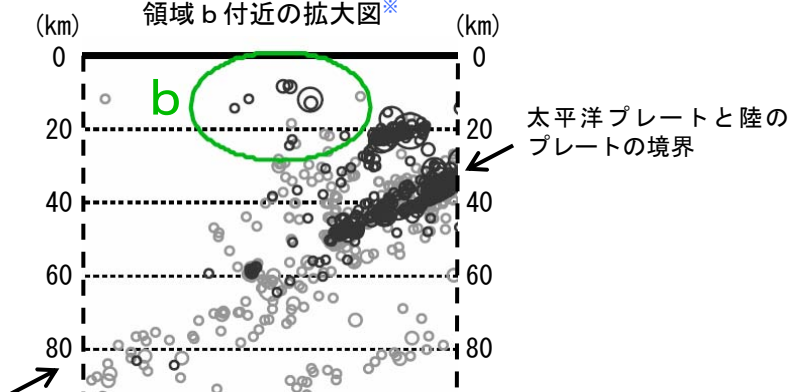


領域b内のM-T図※



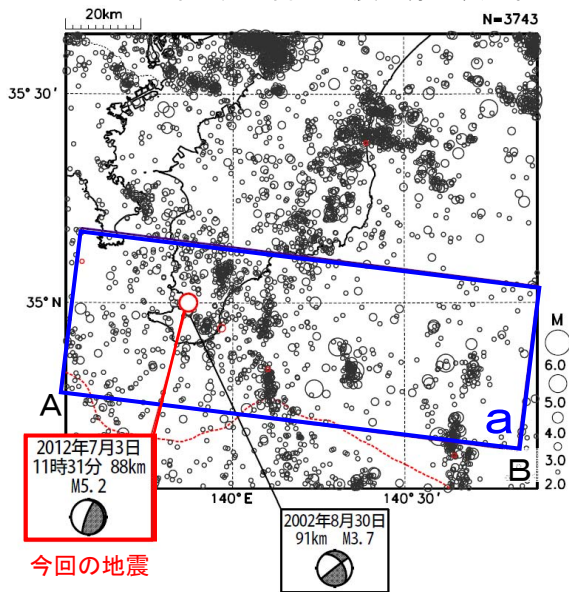
※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

領域b付近の拡大図※



7月3日 千葉県南部の地震

震央分布図（1997年10月1日～2012年7月5日
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ ）
2012年7月以降の地震の赤で表示。

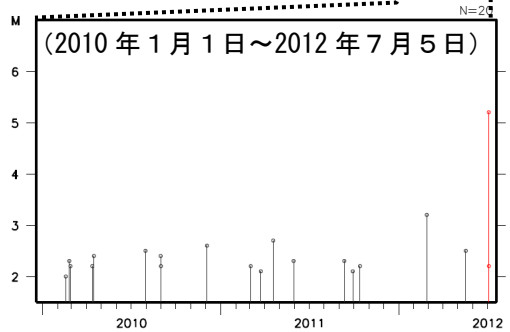
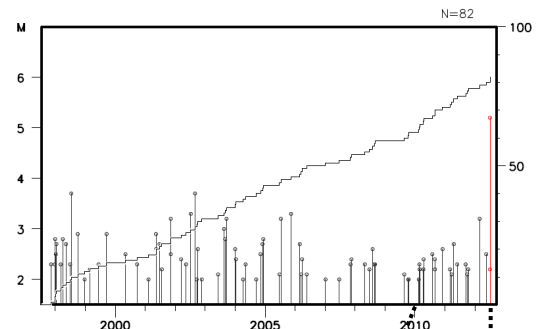


情報発表に用いた震央地名は「東京湾」である。

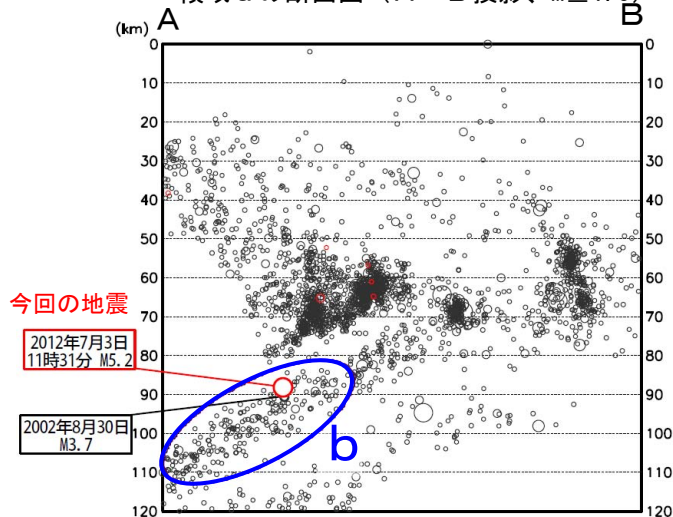
2012年7月3日11時31分に千葉県南部の深さ88kmで $M 5.2$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートの沈み込みに伴って発生した地震であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、これまで $M 4.0$ 以上の地震は発生していなかった。

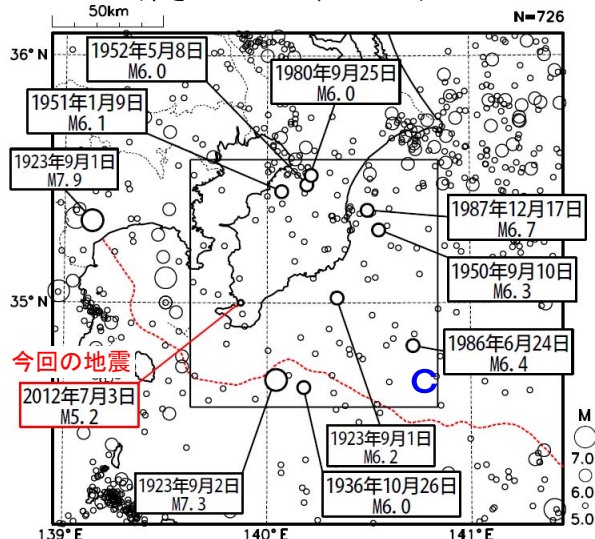
領域b内のM-T図および回数積算図（ $M \geq 2.0$ ）



領域aの断面図（A-B投影、 $M \geq 1.5$ ）

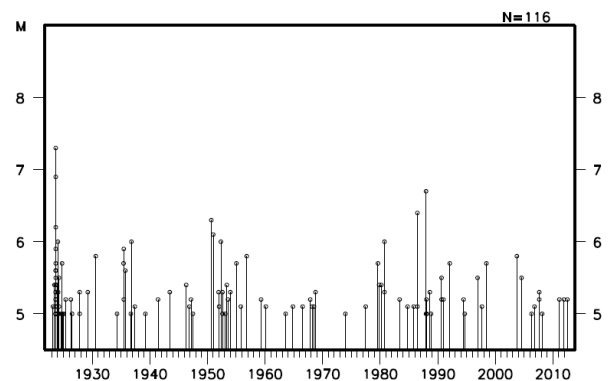


震央分布図（1923年1月1日～2012年7月5日
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図



7月8日 千島列島の地震

震央分布図

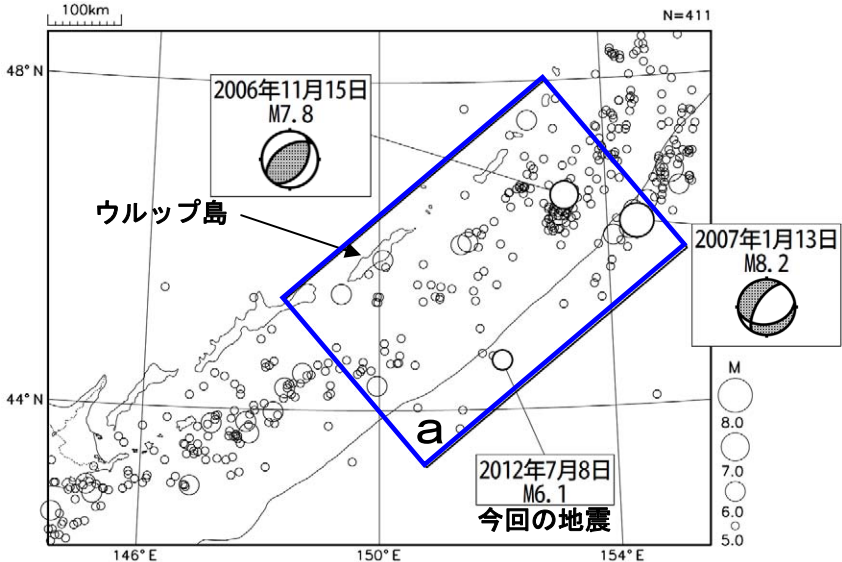
(2001 年 1 月 1 日~2012 年 7 月 8 日、

深さ 0 ~ 100km、 $M \geq 5.0$)

震源は米国地質調査所（USGS）による。

ただし今回の地震の震源は気象庁による。

発震機構は気象庁 CMT 解



2012年7月8日20時34分頃に千島列島でM6.1(速報値)の地震(国内最大震度1)が発生した。

今回の地震の震央周辺（領域 a）では、2006 年 11 月 15 日に M7.8 の地震（国内最大震度 2）、2007 年 1 月 13 日に M8.2 の地震（国内最大震度 3）が発生している。

2006年11月15日と2007年1月13日の地震では、いずれも日本の太平洋沿岸やハワイなど広い範囲で津波が観測された。国内の検潮所において観測された最も高い津波の高さは、三宅島坪田で前者が84cm、後者が43cmであった。

領域 a 内の M-T 図

